

<公開授業> 国富町立本庄中学校

「身近な地域の調査」～国富町の将来を考える学習を通して～

発表者 教諭 山本 健太

1 はじめに

国富町では、令和4年度からの「第6次国富町総合計画」により、国富町の特性を活かしながら、変貌する社会への挑戦を続けており、「人づくり」「幸せづくり」「産業づくり」「暮らしづくり」などの、目指す将来像を実現するための施策を立てている。一方、学習指導要領における中学校社会科（地理的分野）の目標は、「地理的な見方考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる・・・公民としての資質・能力の基礎を育成すること」であり、本校第2学年の総合的な学習の時間では、「自分を知る」をテーマとした「地域再発見の探求学習」を行うこととしている。

そこで、社会科と総合的な学習の時間とのクロスカリキュラムで本単元を構成することとし、国富町役場の方々を中心とした地域人材を活用しながら「国富町の将来を考える学習」を行うこととした。

なお、本校のN I Eの活動は、次の3点を中心である。

- ① いつでも手に取って新聞を読める環境の整備（毎日、各学年に1冊配付）
- ② 各学年における新聞を使った活動の実践（頻度や方法は各学年の実態に応じて実施）
- ③ 「14歳の君へ」（宮日新聞）への感想文の投稿

2 本授業の趣旨

(1) 単元について

本単元は「国富町は、これからどのように発展していけばよいのだろうか」をメインテーマとし、社会科と総合的な学習の時間を使って探究する。社会科で地域調査の手法を学び、総合的な学習の時間で当事者意識をもって探究し、再度社会科で学習のまとめを行う。

学習の流れは以下の4ステップである。

- ステップ1…新聞記事をヒントにKDP（国富デザインプラン）新聞を作成する調査学習 【社会】
- ステップ2…KDP新聞を個人で発表し、講師と意見を交流する探究学習 【総合】
- ステップ3…KDP新聞をグループでまとめ、よりよい壁新聞を作成する探究学習 【総合】
- ステップ4…KDP新聞の発表を聞き、講師や生徒と意見を交流する課題解決学習 【社会】

(2) 本時について

本時の授業は、上記のステップ4にあたる社会科の授業である。「国富町は、これからどのように発展していけばよいのだろうか」を課題として、3グループで作成した具体的なプランの発表を聞き、20年後の国富町のキャッチコピーを考え、意見を交換し、最後にこれまでかかわってくださった講師から講評とアドバイスをいただく。追究してきた具体的なプランをまとめることで見えてくる、心に届く言葉（キャッチコピー）を考える学習を通して、生徒は「具体から抽象（より高次の概念）をつかむ力」や「たくさんの情報を要約する力」などを身に付けていくことができると考える。

(3) N I Eとの関連

新聞記事をヒントに個人が考えたアイデアを、グループで集約し、KDP新聞を作成する。そのKDP新聞の発表を聞き、国富町のキャッチコピーを考える活動（ラベリング活動）を行い、20年後の町の姿を模索していきたい。

3 本時の学習指導

(1) 目標

KDP 新聞の発表と講師のアドバイスをもとに、お互いに意見を交流し、考察する活動を通して、国富町の将来のあり方を考える。【思考・判断・表現】

(2) 学習過程

主な学習活動	留意点等	準備等
1 これまでの活動を振り返る。 3分 2 本時の学習課題を確認する。 1分	○ プレゼンで活動を振り返る。 ○ 学習課題を掲示する。	模造紙 プレゼン TV等 ワークシート 学習課題
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題 国富町は、これからどのように発展していけばよいのだろうか。 </div>		
3 グループごとに KDP 新聞を発表する。 10分 A (人づくりグループ) 移住、働く、学ぶ B (ものづくりグループ) 観光、食べる、遊ぶ C (町づくりグループ) 環境、防災、産業、福祉 発表…1グループ3分	○ 発表をしっかりと聞かせる。 ○ タイマーで時間を図る。	指し棒 タイマー
4 個人で、20年後の国富町のキャッチコピーを20字程度で考える。 6分	○ キャッチコピーとは何かを説明する。 ○ キャッチコピーは、KDP新聞を地域へ発信する際の見出しになることを伝え、地域へ貢献する気持ちを高める。	
5 個人で考えたキャッチコピーを、講師とともにグループ(1グループ6人)で協議し、1つにまとめ、発表する。 15分	○ 講師には、生徒の意見を肯定的に聞いていただく。 ○ 交流しやすいようにホワイトボードを活用して、各グループの考えを集約する。	ホワイトボード ペン
6 グループで出されたキャッチコピーを全体で交流し、クラスで1つにまとめる。 7分	○ 「心に届く言葉」という視点をもたせ、一般化させる。 ○ 他のクラスで出た意見も参考にさせる。	
7 単元のまとめとして、講師の方から講評をいただく。 8分	○ ふるさとを愛し、ふるさとに関わり、誰かを笑顔(幸せ)にする人に成長してほしいという願いを込めて講評をしていただく。	